

山口県萩市の5資産を巡る!!

産業化や産業文化形成の全体像と特徴を現在に伝える萩市の資産を巡って、先人達の『ものづくりの心と志』を感じてみませんか？

2 恵美須ヶ鼻造船所跡 (造船)

幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩(長州)藩が設けた造船所の遺跡。藩は、伊豆の戸田村や長崎海軍伝習所に船大工ら技術者を派遣し、西洋技術の情報を得て伝統的な和船の建造技術を使って、2隻の西洋式軍艦「丙辰丸」「庚申丸」を建造した。



所 〒758-0011 山口県萩市大字椿東5159-14 ☎ 0838-25-3139 (萩市観光課)
 JR東萩駅から車5分
 萩市から島根県に走る国道191号沿い右側の萩反射炉を通過して最初のバス停留所(漁港入口)を左に曲がり、すぐ右に曲った突き当り
 萩循環まあるバス「東回りコース」萩しーまーと下車徒歩3分



恵美須ヶ鼻造船所跡



萩反射炉

1 萩反射炉 (製鉄・製鋼)



西洋式の鉄製大砲鑄造を目指した萩(長州)藩が、1856年に建設した反射炉の遺跡。萩(長州)藩から佐賀藩に派遣された大工棟梁が持ち帰った反射炉の見取図を基に、試作的に建設された。



所 〒758-0011 山口県萩市大字椿東4897-7 ☎ 0838-25-3139 (萩市観光課)
 JR東萩駅から車3分
 萩市から島根県に走る国道191号沿い右側
 萩循環まあるバス「東回りコース」萩しーまーと下車徒歩3分

3 大板山たたら製鉄遺跡 (製鉄・製鋼)



日本の伝統的な製鉄方法であるたたら製鉄の遺跡。萩(長州)藩が西洋式軍艦「丙辰丸」を建造する際に用いた船釘などの原料鉄を供給しており、幕末の西洋式帆船建造に当時の日本の在来技術が利用されたことを示している。



所 〒758-0501 山口県萩市大字紫福257-5 (山地番) ☎ 0838-25-3139 (萩市観光課)
 JR東萩駅から車30分
 松陰神社横の県道11号・10号を北上し、山の口ダム方面に向かう道路(大型車通行不可)の突き当たり

萩城下町 (城跡)

萩城下町 (旧町人地)

萩城下町 (旧上級武家地)

4 萩城下町 (当時の時代背景)



毛利輝元が建設した萩(長州)藩の政治・行政の中心であった萩城の跡(城跡)、藩の産業化や技術獲得などの政策を遂行した、身分が高い武士の屋敷等があった旧上級武家地、当時の経済的な様相を現在に伝えている旧町人地の3つの区域によって構成される。



所 〒758-0057 山口県萩市大字堀内1 ☎ 0838-25-3139 (萩市観光課)
 JR東萩駅から車5分

5 松下村塾 (人材育成)



萩(長州)藩の兵学者吉田松陰が主宰した私塾。吉田松陰は実家の杉家に謹慎していた1856年から門人への指導を開始し、1857年に現存する塾舎に移った。塾生たちに海防の必要性和、西洋に学び、産業・技術の獲得を重視する思想を教えた。



所 〒758-0011 山口県萩市大字椿東1537-1 ☎ 0838-22-4643 (松陰神社)
 JR東萩駅から車5分
 萩・石見空港から車60分
 国道191号・262号の交差点から県道11号を通過して県道67号を北に向かって右側

【広域MAP】



大板山たたら製鉄遺跡

萩城下町

萩反射炉

松下村塾